

国語 三十一 (書き)	第二学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① □の□の□。

② □は、□もなく、□もない。

③ 残□がまだまだおびしく、□が□。

④ 冬の□におおわれる。

⑤ □スープをいただく。

⑥ □、□は□にあつた。

国語 三二二 (書き)	第三学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① かれ なげ た その いつきゆら が めいあん を わけた 。

② かれ なげる たま はとても はやく うつ こ
とができない。

③ だしや は、 くらい ひようじよう 情 でぐんちに かえって
いった。

④ えんどう とは とおく に なげる ことです

⑤ おおしまゆき ふね は、 そくど を あげた 。

国語 三二三 (書き)	第三学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ろん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① 「^{いんしゅらんとん}□^し せん □」 とは、お^{ちや}□ を
^{の ん だ}□^{くるま}あとに車を^{うんとん}□ してはいけない
 というのです。

② □^{ちや}に □^{と 共 っ た} ので、□^{に ろ ん だ} しまった。

③ □^{いんりょうすい}料 □^{はりふ} を □。

④ □^{じてんしゃ} であら □^{かわ} そいをサイクリングする。

⑤ みんなでいつしよに □^{うんどう} した。

国語	第二学年の漢字（書き）	年 組 番
三十四 （書き）	名前	

つぎ ろん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① はは はんたい がわの ほじら を あるいて います。

② ビート ばん をもとの ほしよ に かえす。

③ いえ の ちかく の ちか は、とても せむら です。

④ いぬや を つくる ために いた を かって せ
ました。

⑤ この ほん の くん せやく び は、 せむら の
ばつようび
□ です。

国語 三―五 (書き)	第二学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ろん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① ギョウザの□^{かわ}を□^{かう}。

② □^{ふくびき}を□^{ひく}ために□^{れら}になる。

③ この□^{ふく}は、わたしには□^{ちんてすれ}ます。

④ □^{なみうち}きおにすつといたから□^ひふが□^{あかく}なつた。

⑤ □^{たいふら}が□^{ちかつき}、□^はら□^{ちゆらい}ほらが□^{でた}。

国語 三十一 (書き)	第二学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ゑん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① ^{しよくちつ}が、 ^{はたけ}に ^ねをはっている。

② ^はがおいしげっている。

③ ^{はたけ}に ^{だいにん}を ^{うえる}。

④ ^{やま}の木々がみごとになら ^{よら}している。

⑤ おにぎりついで、 ^{もの}かげにかくれる。

国語 二七 (書き)	第二学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
------------------	--------------	-------------

つぎ ゑん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① ^{だい}すきな ^しを、おぼえている。

② ^{もつて}きたあめを ^{ひとしく} ^{わける}。

③ ^{ちよらし}がよくなるまで、しずかに ^{あつ}。

④ どれくらい ^{いらい}を ^{ひそく}できるか ^{しらべる}。

⑤ ^{いらいさん}でかけつゝをして ^{いらい}になる。

国語	第三学年の漢字（書き）	年 組 番
三二八 （書き）	名前	

つぎ らん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① ^{あつらひ}であげるのには ^{りゆう}がある。

② ^{せんせ}を ^{ならす}。

③ この ^{じんじや}の ^{ゆらい}を ^{しらべる}。

④ ^{ゆせい}性べいで ^{ふえ}に ^{なまえ}を ^{かく}。

⑤ ^{やくしよ}に ^{しんこく}告のとどけをだす。

⑥ ^{かみさま}にいのる。

⑦ ^{たいかい}くのせんかを ^{もらしこむ}。

国語 三十九 (書き)	第三学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ろん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① その□はあの□の□です。

② □ので□に□して□なさい。

③ □な□。

④ □に□を□。

⑤ □が□□。

⑥ □的□に□いる。

国語 三十一 (書き)	第二学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① この ^{みずらみ} □ はとても ^{ふかい} □ 。

② ^{しんや} □ に ^{すみだがわ} 隅田川の ^{かりゆう} □ に ^{ついた} □ 。

③ ^{かわ} □ の ^{ながれ} □ が ^{はやい} □ ので ^{およいで} □ はいけない。

④ ^{おくたま} 奥多摩 ^こ □ に ^{こおり} □ がはる。

⑤ ^{ひょうぜん} □ を ^{みた} □ ことがある。

⑥ ^{きょう} □ の ^{たいいく} □ は ^{すいえい} □ です。

国語 三十一 (書き)	第二学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ゑん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① ひつじ ようす み に いく
□ の □ を □ 。

② と とも う つ く し り お ひ め や ち
□ とも □ おひめ □ でした。

③ ひ じ ゅ つ かん に いく
□ じゆつ □ に □ 。

④ こ の ち り せ い の セ ー タ ー は は だ せ ち ゃ り が よ
く し あ わ せ な き も ち に なる。
□ の □ の セーターは、はだせわりがよ
く、□ な □ になる。

⑤ たい ぐ い ち ゃ う し ま じ かん
□ につがふあの □ で、とても □
な □ をすいした。

国語 三十二 (書き)	第二学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ろん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① ^{あみなみ}□の^{ほろり}□の^{そら}□を^{しやしん}□におかめる。

② ^{たいいぐ}□のじゆ^{あそび}□でホートボールの^{しあひ}□をし

^{まけて}たら□しまった。

③ まん^{いん}□^{でんしゃ}□に^{のる}□。

④ ^{どうぐ}□を^らまぐ^{つかえず}□、^ふ□しようした。

⑤ トウキヨウダルマガエルを^{そだてる}□。

国語 三十三 (書き)	第二学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ゑん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① かぞく つぎ すいじょう の る
□で□の□バスに□。

② お いしや
□せんにみしてもら。

③ じかい たいらく せむし こつ
□の□のじゆ□は、□ぼろです。

④ じぶん たんじよ
□の□はよくわかつている。

⑤ だんだん ひ みじかく
□が□なってきた。

国語 三十四 (書き)	第三学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① ^{びょういん} で ^{じゆ} しんする。

② ^{こがねいこうえん} 小金井公園について ^{しゆざい} 材する。

③ ^{かんじ} テストを ^{うける} 。

④ ^{けい} かいなフットワークでボールを ^{とった} 。

⑤ ^{ぶんかぎ} で、 ^{おうじ} の ^{やく} をすることになった。

⑥ ^{おもった} よりも ^{かるかった} 。

国語 三十五 (書き)	第二学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ゑん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① ほん を ととのえた □ から、そうじは □ おわり です。

② しゅうりょう □ せむし おおきく □ せんが □ また。

③ どうろ □ にイチョウの □ は □ おちて いた。

④ ほん か □ に、そだてた □ チョウを □ の □ はなした。

⑤ いしの □ らつか □ に □ き をつけて、□ せいれつ □ して □ あるき しましょう。

国語 三十一 (書き)	第二学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① あまりのこわさに□^{ひめい}をあげる。

② □^{あいて}の□^{かなしみ}を□^{かんじる}□^{ミス}。

③ みらいの□^{しらべ}を□^{ぞう}ぞうする。

④ □^{おゆらそく}をとって、□^{いせ}を□^{ととのえる}。

国語 三十七 (書き)	第三学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ろん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① はは びやうき だつたので、かわりに や お や
八百屋
せん に かいもの に いった。

② やちん は ち から。

③ にわ に そら に がある。

④ おくじやう から くらこい をながめる。

国語 三十八 (書き)	第三学年の漢字 (書き)	名前	年	組	番
-------------------	--------------	----	---	---	---

つぎ ぶん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① ^{じつ}けん ^{しつ}で ^{けんきゆう}に ^{とりくむ}。

② ^{かき}柿の ^みをカラスから ^{まもる}守る。

③ ^{しゅび}備がよいので ^{あんしん}だ。

④ ^{きょう}は、なつ ^{とら}が ^{やすい}。

国語 三十九 (書き)	第三学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ろん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① あたらしい ^{たいいくかん} はまるで ^{やかた} 館のようだ。

② ^{しゅくだい} の ^{よてい} を ^{れん} らく ^{ちよう} に ^{うりす} 。

③ ^{ちゆう} でのよんな ^{やど} にとまった。

④ お ^{みやまいり} に ^で かける。

⑤ ピントを ^{きだめて} 、 ^{しやしん} をとる。

国語 三十二 (書き)	第三学年の漢字 (書き)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

つぎ ゑん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① □^{せかい}を□^{たび}する。

② □^{しんぶん}を□^{よんで}、□^よの□^{なか}のどけいしを
□^{しる}。

③ □^{かぞく}で□^{おおしま}く□^{りまら}に□^{いく}。

④ □^{にほんれつどう}には、□^{おおく}の□^{とり}がいる。

⑤ □^{かいがん}ぞいに、□^{むら}の□^{せし}まで□^{あらく}。

国語 三十二 (書き)	第三学年の漢字(書き)	年 組 番 名前
-------------------	-------------	-------------

つぎ めん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① ^{はな}から ^ちが ^{で た}。

② ^{じ び か}に ^{い く}。

③ ^{しんちよう}、 ^{たいじゆう}、 ^{けつ}えきがたを ^{か く}。

④ ^はをみがけば、 ^{みじたく}身支度が ^{お わ る}。

⑤ ^{けんし}を ^{ゆび}でさわってみる。

⑥ お ^{ちん}に ^しもんがついている。

<p>国語 三十二 (書き)</p>	<p>第三学年の漢字 (書き)</p>	<p>年 組 番 名前</p>
----------------------------	---------------------	---------------------

つぎ ゑん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① せんしゆのかつやくに □^{おだい}している。

② □^{しんぱい}とを □^{そらだん}する。

③ □^{あいて}のことを □^{かんがえて} □^{いんぎん}する。

④ □^{しんぶん}が □^{はい}たつされた。

⑤ □^{めんだん}の □^{てがみ}を □^{くぼる}。

国語 三十二三 (書き)	第三学年の漢字(書き)	年 組 番 名前
--------------------	-------------	-------------

つぎ らん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① □^{しらせうしせう}片は、□^{しんじゆく} □^{しんじゆく} □^{ちようめ}に
ある。

② □^{せうしゆら}の □^{ふく}岡 □^{けん}から □^{きました}。

③ お □^{とら}ふを □^{ちよう} □^{かい}に □^{いく}。

④ □^{しられい}をかける。

⑤ お □^{とら}ふは、□^{だいず}という □^{まめ}から □^{つくられる}。

国語 三二二四 (書き)	第三学年の漢字(書き)	名前 年 組 番
--------------------	-------------	-------------

つぎ ろん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① ^{はし}□ ^{あさくさ えき}をわたると浅草□ ^{みえて}が□くる。

② ^{みなと}□ ^{ちかく}の□ ^{びんきょく}にあるゆう□。

③ ^{にほんぼし}□ ^{ゆき}□ ^ののバスに□ ^る。

④ ^{じょうせん}□ ^{ふね}した□ ^{おがさわら}が、小笠原に□ ^{むけて}□ ^{しゅつぷ}□
した。

⑤ ^{ぼどうちやう}□ ^{つかって}を□ ^{はんたい}□ ^{いく}がわに□。

国語 三二二五 (書き)	第三学年の漢字(書き)	年 組 番 名前
--------------------	-------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① ^{おら}だん ^{ぼどう}をわたる。

② ^{しつてい}の ^{ちゅうおら}を ^{むく}。

③ ^{すすむ} ^{ほんしつ}を ^{きめる}。

④ ^{しんろ}を ^{けつてい}する。

⑤ にもつを ^{より}に ^{うりかす}。

国語 三十二六 (書き)	第三学年の漢字(書き)	名前 年 組 番
--------------------	-------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① うた れんしゅう
□の□をする。

② あそぶ がつきゅうかい きめた
□ときのリールを□で□。

③ ゆうえんち あそぶ
□で□。

④ さく ねる
□せんを□。

⑤ おどりを ならう
□。

⑥ なつやすみ あそぶ ぐんせう
□は、□のうちに□した。

国語 三二二七 (書き)	第三学年の漢字(書き)	名前 年 組 番
--------------------	-------------	-------------

つぎ ゑん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① じゆ が ら、 は
あつまつて ください。

② の が 。

③ に 。

④ に につくことができた。

⑤ にかん のある は して
ください。

国語 三十二 八 (書き)	第三学年の漢字(書き)	年 組 番 名前
------------------------	-------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① ^{くいわ}をねがう。

② ^{しき}をたてて、 ^{なんぼい}になるかを ^{けいせん}する。

③ ^{たいら}な ^{めん}を ^{うえ}にする。

④ ^{もんだい}がたくさんある。

⑤ ^{と い}と ^{こたえ}。

国語 三十二十九 (書き)	第三学年の漢字(書き)	名前 年 組 番
---------------------	-------------	-------------

つぎ ゑん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① これはゆらめいな□が□ピ
アノです。
せつせよくか つかつた

② わたしは□に□、そのぼから
□。
ひぶんしや のり せつた

③ このおもちゃは□□したときはお
やんと□。
おもねん しよん らういた

④ 過□の□をふり□。
か こ ほうそん かえる

⑤ □まで□。
まがりがど おくる

国語 三十二 (書き)	第三学年の漢字(書き)	名前 年 組 番
-------------------	-------------	-------------

つぎ めん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① ^{むかし}は ^{すみ}で ^ひをたいて ^ゆをわかした。

② せん ^{とら}のおふるは ^{ひろくて} ^{きもち}がいい。

③ ^{せきたん}を ^{はらふ}のに ^くらうした。

④ ^{くるしそら}だったので、 ^{たすけ}にいった。

⑤ ^{にがい} ^{くすり}を ^{のむ}。

⑥ いきおいをつけるために ^{じよぞら}をとる。

国語 三十二 (書き)	第三学年の漢字(書き)	年 組 番 名前
-------------------	-------------	-------------

つぎ ろん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① その□の□は□に□。

② □の□が□。

③ □の□を□いる。

④ ドアを□。

⑤ □のページを□。

国語 三十二三三 (書き)	第三学年の漢字(書き)	名前 年 組 番
---------------------	-------------	----------

つぎ ゑん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① ふひん □ がなくならないように □ ちゅうい する。

② くや □ の □ なか に □ しょうひん がたくさんある。

③ しなもの □ を □ にかい に □ はらう。

④ がふとむしが □ しんで しまった。

⑤ あきな □ がらまぐいぐ。

国語 三二三四 (書き)	第三学年の漢字(書き)	名前 年 組 番
--------------------	-------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① たいよう
太陽がのぼった。

② おばけに □ おい かけられるゆめを □ み た 。

③ かせき □ を たまたま ひろった 。

④ りょう □ を □ つい かする。

⑤ お れい の てがみ を かく 。

国語 三十二五 (書き)	第三学年の漢字(書き)	年 組 番 名前
--------------------	-------------	-------------

つぎ ぶん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① ひつ じゆんを しらべる □。

② よしの くん は ぶで の つかいかた □ がらまい。

③ えん ぴつ と けし □ ゴム

④ きみ は なんびょう で ぜんぶ の もんだい □ をとけますか。

⑤ すぐて の みず をつかつて ひ を しょうか □ した。

国語 三十二六 (書き)	第三学年の漢字(書き)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

つぎ ぶん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① のらねまら
□をして、あせを □ ながす。

② じ じょう じょうりょう
見 □ が □ する。

③ たかおせん のぼる
高尾山に □ 。

④ か つ もの まける もの
□ □ もいれば □ □ もいる。

⑤ しょうしゃ
オリンピックの □ 。

国語 三二二七 (書き)	第三学年の漢字(書き)	名前 年 組 番
--------------------	-------------	-------------

つぎ ゑん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① この□の□はとても□。

② □には、□がたくさんある。

③ □にはどんな□があるか□。

④ □の□空似。

国語 三十三 (書き)	第三学年の漢字(書き)	名前 年 組 番
-------------------	-------------	-------------

つぎ めん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① いのち の たいせつ を しる 。

② ごうぜんのかい に うんめい を かんじる 。

③ いらだい でくやの おもて に てる 。

④ しらべた けつかを ひょう に あらわす 。

⑤ ともだちの かわり に しゅつ せきする。

国語 三十三十九 (書き)	第三学年の漢字(書き)	年 組 番 名前
---------------------	-------------	-------------

つぎ らん あ かんじ か
次の文の□に当てはまる漢字を書きましょう。

おく き
送りがなにも気をつけましょう。

① ^{みじい} いろの ^{よく} を ^{おる}。

② ^{しゅっぱつ} してしばらくすると、れつしやは
 ^{しんりよく} の ^{やま} の ^{なか} に ^{はいつた}。

③ かけついで ^{いつちやく} になった。

④ ^{ゆらめい} な ^{かいじよう} でピアノの ^{はつびようかい} を
する。

⑤ ^{ある} が ^な 無いか、かくにんする。

国語 三十一 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

_____^{かんじ} の漢字の読みを _____^{みぎがわ} の右側に書
 きましょう。

- ① 東京都の今朝の気温。
- ② 今日は、暑くもなく、寒くもない。
- ③ 残暑^{ざん}がまだまだきびしく、体調が悪い。
- ④ 冬の寒気におおわれる。
- ⑤ 温かいスープをいただく。
- ⑥ 昔、都は京都にあった。

国語 三二二 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	年 組 番	名前
-------------------	--------------	-------	----

_____の漢字かんじの読みを_____の右側みぎがわに書かきましょう。

- ① 彼かれが投なげたその一ひと球たまごが明あ暗くを分わけた。
- ② 彼かれの投なげる球たまごはととても速はやく、打うつことができない。
- ③ 打う者しやは、暗くい表しやう情じやうでぐんちぐんちに帰かえつていいつた。
- ④ 遠とほ投なとは遠とほくくに投なげることことです。
- ⑤ 大お島しま行ゆきの船ふねは、速はや度どをあげた。

国語 三二三 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	年	組	番	名前
-------------------	--------------	---	---	---	----

_____の漢字かんじの読みを_____の右側みぎがわに書かきましょう。

① 「飲酒運転くるまきん止」とは、お酒を飲んだあとに車を運転してはいけなといらことです。

② 急に止まったので、転んでしまった。

③ 飲料水りようすいを運ぶ。

④ 自転車であら川ぞいをサイクリングする。

⑤ みんなでいっしょに運動した。

国語 二―四 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	年 組 番	名前
-------------------	--------------	-------	----

_____の漢字かんじの読みを_____の右側みぎがわに書かきましょう。

- ① 母は、反対がわの歩道を歩いています。
- ② ビート板をもとの場所に返す。
- ③ 家の近くの坂は、とても急です。
- ④ 犬小屋を作るために板を買ってきました。
- ⑤ この本の返きやく日は、来週の月曜日です。

国語 二一五 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	名前	年	組	番
-------------------	--------------	----	---	---	---

_____の漢字かんじの読みを_____の右側みぎがわに書かきましょう。

- ① ギョウザの皮かわを買かう。
- ② 福引ふくひきを引ひくために列りにならなる。
- ③ この服ふくは、わたしには小ちさずまます。
- ④ 波打なちままわにすすつといたから皮かわぶが赤あかく
ななった。
- ⑤ 台風たいふうが近ちかづづき、波なららう注ちゅう意いほほうがが出でた。

国語 三十一 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	年	組	番	名前
-------------------	--------------	---	---	---	----

_____の漢字の読みを_____の右側に書
きましょう。

- ① 植物が、畑に根をはっている。
- ② 葉がおいしげっている。
- ③ 畑に大根を植える。
- ④ 山の木々がみごとにくら葉している。
- ⑤ おにぎりので、物がげにかくれる。

国語 二七 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	年 組 番 名前
------------------	--------------	-------------

_____ ^{かんじ} の漢字の読みを _____ ^{みぎがわ} の右側に書
 きましょう。

- ① 大おほきな詩うたを、おぼえている。
- ② 持もつてきたあめを等ひらしく分わける。
- ③ 調てう子しがよくなるまで、しずかに待まちつ。
- ④ どれくらい動うごきを持も続ぞくできるか調てうべる。
- ⑤ 公こう園えんでかけっこをして一いち等とうになる。

国語 三十八 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

_____ の漢字かんじの読みを _____ の右側みぎがわに書かきましょ。

- ① 油あぶらであげるのには理由りゆうがある。
- ② 汽笛きふえを鳴ならす。
- ③ この神社しんじの由来ゆらいを調しらべる。
- ④ 油性あぶらペンで笛ふえに名前なまえを書かく。
- ⑤ 役所やくじょに申告しんこくのとどけをだす。
- ⑥ 神様かみさまにいのる。
- ⑦ 大会たいかいへのさんかを申しこむ。

国語 三十九 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	名前	年	組	番
-------------------	--------------	----	---	---	---

_____の漢字^{かんじ}の読み^よを_____の右側^{みぎがわ}に書^かきましょう。

- ① その住所はあの電柱の先です。
- ② 暗いので、柱に注意して歩きなさい。
- ③ 主な登場人物。
- ④ 火に油を注ぐ。
- ⑤ 神主が住む所。
- ⑥ 自主^{てき}的に調べている。

国語 三十 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	年	組	番
		名前		

_____の漢字の読みを_____の右側に書
きましょう。

① この湖はとても深い。

② 深夜に隅田川の下流に着いた。

③ 川の流が速いので泳いではいけない。

④ 奥多摩湖に氷がはる。

⑤ 氷山を見たことがある。

⑥ 今日の体育は水泳です。

国語 三十一 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

_____ ^{かんじ} ^よ の漢字の読みを _____ ^{みぎがわ} ^か の右側に書
 きましょう。

- ① 羊の様子を見に行く。
- ② とても美しいおひめ様でした。
- ③ 美じゅつ館に行く。
- ④ この羊毛のセーターは、はだせわりがよく、
幸せな気持ちになる。
- ⑤ 太平洋にうかぶあの島で、とても幸福な
時間をすごした。

国語 三十二 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

_____ の漢字^{かんじ}の読みを _____ の右側^{みぎがわ}に書^かきましょ。

- ① 真南^{まなん}の方向^{かうきやう}の空^{そら}を写真^{しやうしん}におさめる。
- ② 体育^{たいいく}のじゆ業^{ぎやう}でホ-トボール^{ほ-とぼ-る}の試合^{しあひ}をし
たら負^まけてしまった。
- ③ まん員^{まんいん}電車^{でんしゃ}に乗^のる。
- ④ 道具^{どうぐ}をうまく使^{つか}えず、負^まじょうした。
- ⑤ トウキヨウダルマガエル^{とうきやうだるまがえ}を育^{そだ}てる。

国語 三十三 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	年	組	番
		名前		

_____の漢字の読みを_____の右側に書
きましょう。

- ① 家族で次の水上バスに乗る。
- ② お医者さんにみてもらう。
- ③ 回目の体育のじゅ業は、鉄ぼうです。
- ④ 自分の短所はよくわかっている。
- ⑤ だんだん日が短くなってきた。

国語 三十四 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	年 組 番	名前
-------------------	--------------	-------	----

_____の漢字かんじの読みを_____の右側みぎがわに書かきましょう。

- ① 病院で受しんする。
- ② 小金井公園こがねいこうえんについて取材そくする。
- ③ 漢字テストを受ける。
- ④ 軽かいなフットワークでボールを取った。
- ⑤ 文化祭で、王子の役やくをすることになった。
- ⑥ 思ったよりも軽かかった。

国語 三十五 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	年	組	番	名前
-------------------	--------------	---	---	---	----

_____の漢字の読みを_____の右側に書
きましょう。

- ① 本を整えたら、そうじは終わります。
- ② 終りよう間きわにお客さんが来た。
- ③ 道路にイチョウの葉が落ちていた。
- ④ 放か後に、育てたイチョウを野に放した。
- ⑤ いしの落下に気をつけて整列して歩きましょう。

国語 三十一 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

_____ ^{かんじ} の漢字の読みを _____ ^{みぎがわ} の右側に書
 きましょう。

- ① あまりのこわさに悲鳴をあげる。
- ② 相手の悲しみを感じる心。
- ③ みらいの東京を想ぞうする。
- ④ 休息をとって、息を整える。

国語 三十七 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

_____ の漢字かんじの読みよを _____ の右側みぎがわに書かきましょ。

- ① 母が病び気きだったので、かわりに八は百ひゃく屋やせんに買かい物ぶつにいった。
- ② 病びはきから。
- ③ 庭にそう庫ぐらがある。
- ④ 屋や上かみから校がう庭ていをながめる。

国語 三十八 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	名前	年	組	番
-------------------	--------------	----	---	---	---

_____の^{かんじ}漢字の^よ読みを_____の^{みぎがわ}右側に^か書
きましょう。

① 実^みけん室^{しつ}で研^{けん}究^{きゅう}に取^とり組^くむ。

② 柿^{かき}の^み実^みをカ^かラスから守^{まも}る。

③ 守^{まも}備^びがよ^よいので安^{やす}心^{しん}だ。

④ 今^け日^{にち}は、な^なつ豆^{まめ}が安^{やす}い。

国語 三十九 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	年 組 番 名前
-------------------	--------------	-------------

_____^{かんじ} の漢字の読みを _____^{みぎがわ} の右側に書
 きましょう。

- ① あたらしい体育館はまるで館^{やかた}のようだ。
- ② 宿題の予定を連らく帳に写す。
- ③ 宮でんのような宿にとまった。
- ④ お宮参りに出かける。
- ⑤ ピントを定めて、写真をとる。

国語 三十二 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	年 組 番	名前
-------------------	--------------	-------	----

_____ の漢字の読みを _____ の右側に書
 まましよう。

- ① 世界を旅する。
- ② 新聞を読んで、世の中のできごとを知る。
- ③ 家族で大島へ旅行に行く。
- ④ 日本列島には、多くの鳥がいる。
- ⑤ 海岸そいに、向こうの岸まで歩く。

国語 三十二 (読み)	第三学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
-------------------	-------------	----	---	---	---

_____の漢字の読みを_____の右側に書
 まましよう。

- ① 鼻から血が出た。
- ② 耳鼻科に行く。
- ③ 身長、体重、血えきがたを書く。
- ④ 歯をみがけば、身支度みじたくが終わる。
- ⑤ 犬歯を指でさわってみる。
- ⑥ お皿に指もんがついている。

国語 三二二二二 (読み)	第三学年の漢字(読み)	年 組 番 名前
---------------------	-------------	-------------

_____^{かんじ}の漢字の読みを _____^{みぎがわ}の右側に書
 きましょう。

- ① せんしゆのかつやくに期待している。
- ② 心配しんぱいことを相談する。
- ③ 相手あいてのことを考えて行動する。
- ④ 新聞しんぶんが配くわいたつされた。
- ⑤ 面談めんだんの手紙てがみを配くわいる。

国語 三十二二十三 (読み)	第三学年の漢字(読み)	年 組 番 名前
----------------------	-------------	-------------

_____ の漢字かんじの読みを _____ の右側みぎがわに書かきましょ。

- ① 東京都ちよら片は、新宿区西新宿二丁目にある。
- ② 九州の福岡県おかから来ました。
- ③ お豆まめを二丁買にちやうかひいに行く。
- ④ 号令ごうれいをかける。
- ⑤ お豆まめは、大豆だいずという豆まめから作つくられる。

国語 三十二 四 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	年	組	番	名前
------------------------	--------------	---	---	---	----

_____の漢字の読みを_____の右側に書
きましょう。

- ① 橋をわたると浅草駅が見えてくる。
- ② 港の近くにあるゆう便局。
- ③ 日本橋行きのバスに乗る。
- ④ 乗船した船が、小笠原に向けて出港した。
- ⑤ 歩道橋を使って反対がわに行く。

国語 三二二五 (読み)	第三学年の漢字(読み)	年 組 番 名前
--------------------	-------------	-------------

_____ かんじ よ の漢字の読みを _____ みぎがわ か の右側に書
 きましょう。

- ① 横よこだん歩道ほどうをわたる。
- ② 校庭けうていの中央ちゆうおうを向く。
- ③ 進むすすむ方向かうきやうを決める。
- ④ 進路しんろを決定する。
- ⑤ にもつを横よこに動かす。

国語 三二二六 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	年 組 番	名前
--------------------	--------------	-------	----

_____ ^{かんじ} ^よ の漢字の読みを _____ ^{みぎがわ} ^か の右側に書
きましょう。

- ① 歌の練習をする。
- ② 遊ぶときのルールを学級会で決めた。
- ③ 遊園地で遊ぶ。
- ④ 作せんを練る。
- ⑤ おどりを習う。
- ⑥ 夏休みは、朝のうちに勉強した。

国語 三二二七 (読み)	第三学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
--------------------	-------------	----	---	---	---

_____の漢字の読みを_____の右側に書
きましょう。

- ① しゅ業が終わったら、図書委員は
集まってください。
- ② 係の仕事が終わった。
- ③ 王様に仕える。
- ④ 無事に図書館につくことができた。
- ⑤ 集会にかん係のある人は集合してくだ
さい。

国語 三十二 八 (読み)	第三学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
------------------------	-------------	----	---	---	---

_____の漢字の読みを_____の右側に書
きましょう。

- ① 平和をねがう。
- ② 式をたてて、何倍になるかを計算する。
- ③ 平らな面を上にする。
- ④ 問題がたくさんある。
- ⑤ 問いと答え。

国語 三十二十九 (読み)	第三学年の漢字(読み)	年 組 番 名前
---------------------	-------------	-------------

_____^{かんじ}の漢字の読みを _____^{みぎがわ}の右側に書
 きましょう。

- ① これはゆうめいな作曲家が使ったピアノ
です。
- ② わたしは自動車に乗り、そのぼから去った。
- ③ このおもちゃは、去年使用したときはちや
んと動いた。
- ④ 過^か去の放送をふり返る。
- ⑤ 曲がり角まで送る。

国語 三十三 (読み)	第三学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
-------------------	-------------	----	---	---	---

_____の漢字の読みを_____の右側に書
か
ま
し
よ
う。

- ① 重い荷物を背負う。
- ② 起きてすぐに体重をはかる。
- ③ 起立をして朝のあいさつをした。
- ④ 両方の箱を開ける。
- ⑤ 小箱をつみ重ねる。

国語 三十二 (読み)	第三学年の漢字(読み)	年 組 番 名前
-------------------	-------------	-------------

_____ の漢字かんじの読みを _____ の右側みぎがわに書かきましょ。

- ① 昔は炭で火をたいて湯をわかした。
- ② せん湯のおふろは広くて気持ちがいい。
- ③ 石炭を運ぶのに苦らうした。
- ④ 苦しそうだったので、助けにいった。
- ⑤ 苦い薬を飲む。
- ⑥ いきおいをつけるために助走をとる。

国語 三十二 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	名前	年	組	番
-------------------	--------------	----	---	---	---

_____の漢字の読みを_____の右側に書
きましょう。

- ① その銀の皿は、昭和六十年に作られた。
- ② 第五十回の運動会が始まった。
- ③ 開始の合図を待っている。
- ④ ドアを開ける。
- ⑤ 第一章のページを開く。

国語 三十二三三 (読み)	第三学年の漢字(読み)	年 組 番 名前
---------------------	-------------	-------------

_____ の漢字の読みを _____ の右側に書
 きましょう。

- ① 部品がなくならないように注意する。
- ② 部屋の中に商品がたくさんある。
- ③ 品物を二階に運ぶ。
- ④ かぶとむしが死んでしまった。
- ⑤ 商いがうまくいく。

国語 三十二三四 (読み)	第三学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
---------------------	-------------	----	---	---	---

_____の漢字の読みを_____の右側に書
きましょう。

- ① 太陽がのぼった。
- ② おぼけに追いかけるゆめを見た。
- ③ 化石をたまたま拾った。
- ④ りょう理を追かする。
- ⑤ お礼の手紙を書く。

国語 三十二五 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	年 組 番 名前
--------------------	--------------	-------------

_____ の漢字かんじの読みよを _____ の右側みぎがわに書かきましょ。

- ① 筆ふでじゆんを調しらべる。
- ② よしの君きみは筆ふでの使つかい方かたがうまい。
- ③ えん筆えんふでと消けしゴム
- ④ 君きみは何なに秒びやうで全ぜん部ぶの問と題だいをとけましか。
- ⑤ 全ぜんての水みづをつかつかつて火かを消け火かした。

国語 三十二六 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	名前	年	組	番
--------------------	--------------	----	---	---	---

_____の漢字^{かんじ}の読み^よを_____の右側^{みぎがわ}に書^かきましよう。

- ① 農^{のう}作^{さく}業^{ぎょう}を^{して}、あ^あせ^せを^流す。
- ② 見^こ童^{ども}が^登校^{がう}する。
- ③ 高^{たか}尾^お山^{さん}に^登る。
- ④ 勝^{かち}つ^つ者^{もの}も^いれ^ば負^まけ^る者^{もの}も^いる。
- ⑤ オリ^おリン^{りん}ピク^{ぷく}ク^くの^勝者^{もの}。

国語 三十二十七 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	年 組 番 名前
---------------------	--------------	-------------

_____^{かんじ}の漢字の読みを _____^{みぎがわ}の右側に書
 きましょう。

- ① この薬の味はとても苦い。
- ② 理科室には、薬品がたくさんある。
- ③ 他にはどんな意味があるか調べる。
- ④ 他人の空似^{そらに}。

国語 三十二十八 (読み)	第三学年の漢字 (読み)	年 組 番	名前
---------------------	--------------	-------	----

_____の漢字の読みを_____の右側に書
きましょう。

- ① 命の大切さを知る。
- ② ぐうぜんのさいかいに運命を感じる。
- ③ 交代でくやの表に出る。
- ④ 調べたけつかを表に表す。
- ⑤ ともたちの代わりに出せまする。

国語 三十二十九 (読み)	第三学年の漢字(読み)	名前	年	組	番
---------------------	-------------	----	---	---	---

_____の漢字の読みを_____の右側に書
 ましょう。

- ① 緑いろの服を着る。
- ② 出発してしばらくすると、れっしやは新緑
 の山の中に入った。
- ③ かけっこで一着になった。
- ④ 有名な会場でピアノの発表会をする。
- ⑤ 有るか無いか、かくにんする。